

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

## 事業名 浄化槽対策事務費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 廃棄物対策課 一般廃棄物係 電話番号：058-272-1111 (内 2718)

E-mail：[c11225@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11225@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 2,407 千円 (前年度予算額：2,249 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,249	0	0	290	0	0	0	0	1,959
要求額	2,407	0	0	390	0	0	0	0	2,017
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

合併処理浄化槽は、し尿と併せて生活雑排水を処理した後に公共用水域等へ放流する施設であり、その機能が正常に保たれていなければ、生活環境及び公衆衛生上の支障を生ずるおそれがある。そのため、浄化槽法、岐阜県浄化槽の保守点検業者の登録に関する条例に基づき、浄化槽の適正な維持管理の徹底を図る。

### (2) 事業内容

- ・法定検査実施率の向上のための浄化槽維持管理指導

岐阜地域環境室に2名、4県事務所に各1名、計6名の浄化槽専門職員を配置し、浄化槽設置者に対して適正な維持管理(清掃、保守点検、法定検査)の実施について指導を行う。

- ・浄化槽保守点検業の登録事務

条例に基づく浄化槽の保守点検業者に対する指導監督を行う。

### (3) 県負担・補助率の考え方

未受験者に対する指導、県条例に基づく保守点検業者の登録事務は、県の事

務である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	415	業務旅費
需用費	1,179	消耗品費、燃料費
役務費	813	文書郵送代
合計	2,407	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
  - (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信
    - ② 美しく豊かな環境の保全・継承

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

浄化槽法第11条第1項に基づく法定検査  
受検率 100%（できるだけ早い段階で）

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
浄化槽の法定検査受検率（毎年受検）	—	96.5% <small>（H29）</small>	95.8% <small>（H30）</small>	97.0% <small>（R1）</small>	100% <small>（—）</small>	97.0%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

- ・法定検査実施率向上のための浄化槽維持管理指導  
特に未受検者数が多い岐阜管内について、岐阜地域環境室及び4県事務所の計6名の浄化槽専門職員により重点的な指導を行った。（文書指導、訪問・電話）
- ・法定検査により不適正と判定された大型浄化槽に対する立入・水質検査の実施
- ・浄化槽保守点検業の登録事務及び指導監督

### （前年度の成果）

法定検査の受検率は、平成30年度は休止浄化槽の取り扱いを明確にし、全国で最も高い受検率となっている（令和2年2月 環境省報道発表資料より）

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	公共用水域等への汚濁負荷の軽減のため、今後も継続して取り組んでいく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	受検率は着実に向上してきており、事業効果が現れている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	浄化槽専門職員を活用することにより、より多くの立入検査を実施し、指導をすることが可能となった。

### (今後の課題)

県内には浄化槽が約 18 万基あり、依然として要指導件数が多いことから、効率的な指導が行えるよう必要に応じて検討していく。
---

### (次年度の方向性)

生活環境の保全及び公衆衛生の向上のため、浄化槽の設置者に対して適正な維持管理について、継続して指導していく。
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	